



だれもが「大丈夫」と思える政治を

浅見みどり通信

日本共産党東村山市市議会議員 2期目始動 NO. 54

日本共産党



Japanese Communist Party

Higashimurayama City council member Asami Midori

ホームページ <https://asami.jcp-hihigasami.jchigasimurayama.net>



あたたかい中学校全員給食を求める陳情 全会一致で採択

市民の声が動かした！

日本共産党東村山市議団は、議会の中で何度も取り上げてきました。過去2回の統一地方選挙でも中学校全員給食の実現を公約に掲げました。

なぜ、陳情が採択されたのでしょうか。2つの理由があります。



★ 全国的に給食費無償化が進んでいる

★ 中学校全員給食を求める署名が市内で広がっている

中学校全員給食を求める市民団体は、様々な活動に地道に取り組んできました。

定期的に市内で署名活動に取り組み、チラシを作成し、学習会をして、陳情を提出・・・。

その地道な活動が、今回、市長の姿勢を動かし、「お弁当は愛情」と答弁していた市長を変えた！

9月議会で、市長が「給食は教育の一環として全員に提供しなければならない」と初めて認めました。市民が粘り強く要望を求め続けてきたことに

市議会での経過

2018年9月 一般質問 さとう直子市議（共産党）

2019年6月・9月・12月 一般質問

山田たか子市議（共産党）

2023年3月

東村山の中学校でも小学校と同じような全員給食を求める陳情（生活文教委員会で廃案に）

2023年6月

東村山の中学校に温かい全員給食を求める陳情（継続審査）

2023年9月議会で陳情採択

さらに、市民の声は、自民党・公明党議員を動かして、今回の陳情採択に結実しました。

次は、全員給食をより良いものにと、無償化の実現です。市と一緒に前に進みましょう。

採択

きこえのバリアフリーへ一歩前進！

加齢性難聴者への補聴器購入の

公的助成制度創設を求める陳情

補聴器の補助を求める陳情が採択されました。

都内でも補聴器補助制度を設ける自治体が増加。後ろ向きだった自民党・公明党議員も賛成へ。佐藤まさたか議員、鈴木議員、かくた議員は反対でした。

STOP! 小中学校統廃合

東村山市は22校ある小中学校を

14校に統廃合する計画案を示しました。

小規模校のメリットは「子どもたちの個別活動の機会が増え、人間関係のつながりが強くなる。異学年交流が生まれやすい。教職員間の連携を図りやすいことである」と、市は議会で答弁しているのに、なぜ・・・。

統廃合よりも、ゆとりある学校施設で、子ども達がもっとのびのびと過ごせる学校を描いてほしいです。

22校を14校に減らす計画はまだ確定していません。

市民の声で、小中学校の統廃合を中止させましょう。



#困った時は共産党に相談しよう

生活保護は権利

年金、仕事がある方、自宅に住んでいる方でも生活保護は申請できます。

扶養照会は義務ではありません。市役所、ほっとシティ等へも同行します。

電話 080(3086)2422

メール

kwiiykchan@tbz.t-com.ne.jp